年間授業計画 新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ MOUSA１ ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・校歌を歌うために必要な発声方法（ふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方）などの技能を身に付ける。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。	【校歌練習】	○				・校歌を歌うために必要な発声方法（ふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方）などの技能を身に付けている。 ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。	○	○	○	10
1学期	・音楽を表現をするために必要な技能を身に付ける。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫する。	【アルト・リコーダー基礎】 アヴェ・マリア		○			・音楽を表現をするために必要な技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。	○	○	○	10
1学期	・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 ・主体的・協働的に合唱に取り組む。	【合唱練習】	○				・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 ・主体的・協働的に合唱に取り組もうとしている。	○	○	○	10
1学期	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解する。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら関わりについて理解する。	【ベートーヴェン　交響曲第９番合唱付き】				○	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景，他の芸術との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら関わりについて理解している。	○	○	○	10
2学期	・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付ける。 ・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	【旋律の雰囲気を変化させよう】			○		・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付けている。 ・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
2学期	・曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりについて理解する。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。	【この道】	○			○	・曲想と音楽の構造や歌詞，文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	○	○	○	10
3学期	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解する。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚・感受しながら自己のイメージをもって創意工夫する。 ・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	【アルト・リコーダー】 シチリアーナ		○		○	・曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚・感受しながら自己のイメージをもって創意工夫している。 ・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
											合計 70